



エコアクション21
認定番号 0010952

エコアクション21

環境活動レポート

【対象期間：2016年1月～2016年12月】



有限会社フジ住設

2017年 3月31日 作成日

目 次

1. 事業活動の概要	1
2. 環境方針	3
3. 環境目標	4
4. 短期目標の実績と評価	5
5. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容	6
6. 環境活動計画の取組内容	7
7. 環境関連法規等の遵守状況と違反、訴訟等の有無	8
8. 代表者による全体評価と見直し	9

1. 事業活動の概要

(1) 名称及び代表者

有限会社フジ住設

代表取締役 齋藤 繁

(2) 所在地

事務所：静岡県磐田市見付1431番地の13

倉庫：静岡県磐田市見付1664番地の16

資材置場：静岡県磐田市鎌田733番地

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者：齋藤 賀子

現場担当者：榊田 英之

事務担当者：齋藤 宏美

連絡先 Tel：0538-32-8546

Fax：0538-36-3611

(4) 事業内容

建設業許可番号：静岡県知事許可 第27866号

建設業の種類：管工事業（特例浄化槽工事業）

とび・土工工事業

土木工事業

鋼構造物工事業

ほ装工事業

しゅんせつ工事業

石工事業

水道施設工事業

指定工事業：浜松市上下水道 磐田市上下水道

袋井市上下水道 森町上下水道

掛川市上下水道 菊川市上下水道

島田市上下水道 御前崎市上下水道

牧之原市上下水道

(5) 事業の規模

事業年度：平成27年1月～平成27年12月

設立：平成5年5月6日

資本金：300万円

事務所床面積：57.75㎡

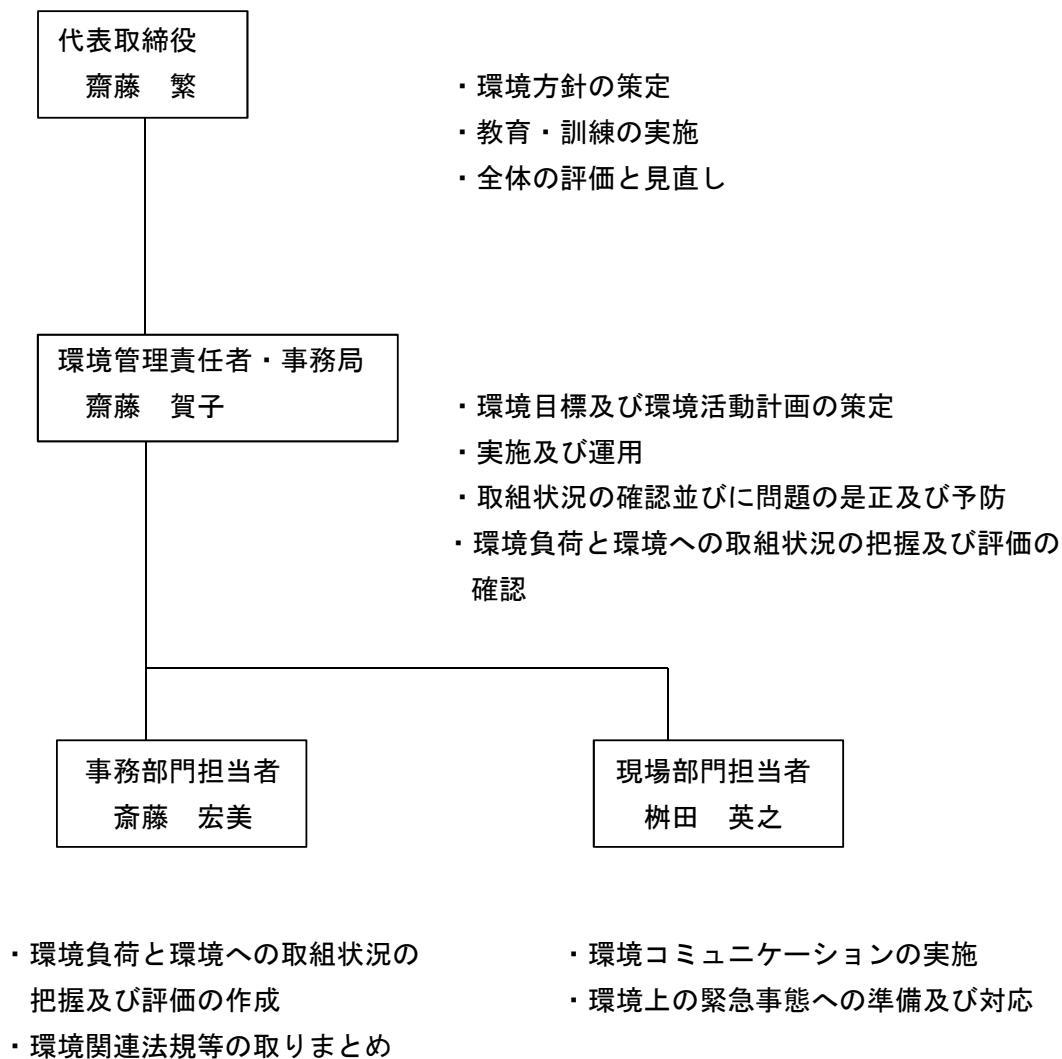
倉庫床面積：53.28㎡

資機材置場面積：521.27㎡

従業員数：6人

工事件数：225件

(6) 実施体制図



2. 環境方針

当社は、水道設備、管工事業の事業活動において、環境に影響する業務があることを自覚。下記の基本方針を実行することにより、地球温暖化防止と健康で美しい生活環境を次世代に引き継いで行けるよう、環境保全活動に積極的に推進します。

〈基本方針〉

1. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます
2. 廃棄物の分別・リサイクル・削減に努めます
3. 水道水使用量の削減に努めます
4. 化学物資を適正に管理することに努めます
5. グリーン購入に努めます
6. 環境配慮型商品の推進に努めます
7. 環境関連法規等を遵守します
8. 全従業員にこの基本方針を周知させ取り組みに努めます

制定日

2014年 5月29日

有限会社 フジ住設

代表取締役

齋 藤 繁

3. 環境目標

2013年度を基準とし、年度比1%の減少を目標とした。

下記の目標以外に以下の取り組みを推進した。

- ・作業現場の効率を向上のために5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)に取り組む

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
取組項目	単位	基準数量	1%減	2%減	3%減
CO2排出量	kg	24690.3	24443.4	24196.5	23949.6
電力	kWh	11741.0	11623.6	11506.2	11388.8
灯油	L	54.0	53.5	52.9	52.4
都市ガス	Nm3	25.0	24.8	24.5	24.3
ガソリン(事務所)	L	2283.5	2260.7	2237.8	2215.0
ガソリン(現場)	L	454.4	449.9	445.3	440.8
軽油(現場)	L	4607.0	4560.9	4514.8	4468.8
一般廃棄物(事務所)	kg	62.9	62.3	61.6	61.0
再資源化率	%	92.4	93.3	94.2	95.1
産業廃棄物(現場)	t	48.3	47.8	47.3	46.8
再資源化率	%	93.8	94.8	95.7	96.6
水道水	m ³	66.0	65.3	64.7	64.0
化学物資	—	—	適正に管理	適正に管理	適正に管理
グリーン購入	—	—	優先的に購入	優先的に購入	優先的に購入
環境配慮型商品販売	—	—	優先的に販売	優先的に販売	優先的に販売

* 電気使用量の二酸化炭素排出係数は、中部電力の0.516kg-CO₂/kWh(平成24年度)を参照

4. 環境目標の実績と評価

取組項目	単位	2013年度	2016年度			評価	
		基準数量	目標(3%減)	実績	増減%		
CO2排出量	kg	24690.3	23949.6	19460.9	-18.7%	減	○
電力	kWh	11741.0	11388.8	8051.0	-29.3%	減	○
灯油	L	54.0	52.4	20.0	-61.8%	減	○
都市ガス	Nm3	25.0	24.3	13.0	-46.4%	減	○
ガソリン(事務所)	L	2283.5	2215.0	1184.6	-46.5%	減	○
ガソリン(現場)	L	454.4	440.8	425.6	-3.5%	減	○
軽油(現場)	L	4607.0	4468.8	4378.7	-2.0%	減	○
一般廃棄物(事務所)	kg	62.9	61.0	200.9	229.3%	増	—
再資源化率	%	92.4	95.1	95.0	-0.1%	減	×
産業廃棄物(現場)	t	48.3	46.8	120.5	157.4%	増	—
再資源化率	%	93.8	96.6	98.7	2.1%	増	○
水道水	m ³	66.0	64.0	59.0	-7.8%	減	○
化学物資	—	—	適正に管理	適正に管理	—	—	○
グリーン購入	—	—	優先的に購入	優先的に購入	—	—	○
環境配慮型商品販売	—	—	優先的に販売	優先的に販売	—	—	○

5. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

項目	取組計画	結果	担当者(評価)
電力使用量の削減	①不要時は照明をこまめに消す ②夜間、休日はOA機器の主電源を切る ③空調設備の適温化 ④フィルターの清掃(月1回)	△ ○ △ △	齋藤 宏美 電気の切り忘れ、フィルターの清掃忘れが無いよう互いに声を掛ける。
ガソリン・軽油使用量の削減	①燃料消費が削減できる、施工・作業方法の採用 ②タイヤの空気圧の確認 ③省エネ運転を意識する ④アイドリングストップ	○ △ ○ △	柘田 英之 アイドリングストップを徹底する。
一般廃棄物量の削減	①必要最小限の量を印刷する ②使用済み用紙の裏紙再利用 ③使用済み封筒の再利用 ④ミスコピーの削減	○ ○ ○ △	齋藤 宏美 設定やリセットの確認を徹底する。
建設廃棄物量の削減	①残余資材にならないよう発注時の再チェック ②品質劣化にならないよう在庫管理の徹底 ③建設副産物の再利用の向上 ④マニフェストによる適正な処理	○ ○ ○ ○	武田 茂樹 達成出来ている。更なる工夫をする。
水道使用量の削減	①泥等を落としてから洗車 ②日常的に節水を意識する ③漏水が無いが定期的に点検	○ ○ ○	齋藤 賀子 引き続き節水を心掛ける。
化学物資を適正に管理	①施工方法の確認(必要最低限の使用量) ②保存場所の管理	○ ○	武田 茂樹 引き続き適正に管理を行う。
グリーン購入及び環境配慮型商品の販売	①再生可能な建設資材を優先的に購入 ②再生材料から作られた製品を優先的に購入 ③省エネ・省資源型の商品を積極的に販売 ④消費者に環境配慮型の商品の情報を提供する	○ ○ ○ ○	齋藤 賀子 新商品等の情報集め等、更なる工夫をする。
従業員への教育・訓練	①基本方針等の確認 ②緊急事態を想定した訓練及び対応	○ ○	柘田 英之 今年は大雨(台風)時の訓練が出来た。来年も訓練を行う。

※ いずれも達成○ いずれか達成△ いずれも未達成×

* 次年度の取組内容は本年度の目標(達成手段)を引き継ぐ

6. 環境活動計画の取組内容



7. 環境関連法規等の遵守状況と違反、訴訟等の有無

法令	規制内容	対処方法	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の収集運搬、処理(中間・最終)を委託する場合、各業者の許可証を確認したか	委託契約時確認	○
	収集運搬業者並びに処理業者との委託契約は委託基準を遵守した書面を使い、数量等必要事項が記載されているか	委託契約時確認	○
	マニフェストには作成年月日、種類、重量、形状、荷姿、車輛番号、処分方法等を記入しているか	記入洩れの確認	○
建設リサイクル法	指定副産物の「建設系廃棄物・減量化・再資源化・分別集積・推進計画書」を作成したか	発注者へ提出	○
	発生土の搬出に当り廃棄物が混入しないよう分別したか	分別の徹底	○
	下請けさせる場合届出事項を告知し契約したか	元請業者の責務	○
	特定建設資材を分別解体等または再資源化等を実施したか	発注者へ完了報告書	○
その他	道路の使用許可が必要な場合、道路使用申請を提出しているか(道路交通法)	所轄警察署へ届出	○
	道路の占用許可が必要な場合、道路占用申請を提出しているか(道路法)	河川管理者へ届出	○
	環境保全型製品を積極的に購入しているか(グリーン購入法)	グリーン購入推進	○

* 環境関連法規等への違反、訴訟等はありませんでした。

関係機関からの指摘、指導及び周辺地域からの苦情もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

項目		確認	評価・コメント
見直し 関連 情報	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成。
	2	環境目標の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物の削減・再資源化率が達成出来なかった。意識を高め更なる削減に努める。
	3	環境活動計画の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 引き続き取り組む。
	4	環境関連法規等の遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載。遵守出来ている。
	5	問題点の是正処置及び予防処置の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 是正・予防の処置なし。
	6	外部コミュニケーション記録	<input checked="" type="checkbox"/> 苦情等無く問題なし。

全体評価・コメント				
<p>事務所内での処置は対応しやすいが、工事の規模・内容で増えてしまう廃棄物や燃料等現場での処置は計画通りに進まず、難しい。</p> <p>会社ではなく各自それぞれが進める事への意識改革が今以上に必要だと思う。</p> <p style="text-align: right;">平成29年3月27日 有限会社 フジ住設 代表取締役 齋藤 繁</p>				
代表者による 全体評価と、 見直し・ 指示	見直し項目	変更の 必要性	【有】の場合の指示事項等	
	1	環境方針	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	2	環境目標	<input type="radio"/> 有 ・ 無	未達成だった項目の見直し、達成手段の改善を図る。
	3	環境活動計画	<input type="radio"/> 有 ・ 無	未達成だった項目の見直し、達成手段の改善を図る。
	4	環境関連法	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	5	外部コミュニケーション対応	有 ・ <input type="radio"/> 無	
6	その他(実施体制等)	有 ・ <input type="radio"/> 無		